

2025年度 立命館アジア太平洋大学 入学試験 変更点のポイント



入試要項
公表予定日

総合型選抜・帰国生徒選抜：2024年 6月頃
一般選抜： 2024年11月頃

2025年度入学試験
概要についてはこちら >



秋入学（9月入学）のチャンスが広がる！

リニューアル

01

総合型選抜

すべての方式

国際バカロレア

(IB)選抜

帰国生徒

(海外就学経験者)選抜

編入学・転入学

試験

4月または9月の 希望する入学時期を選べる！

9月入学を希望する方が受験できる

入試の選択肢が2倍！

ただし、2025年4月以降に選考する入試は9月入学のみ選択可能。

リニューアル

02

総合型選抜

すべての方式

国際バカロレア

(IB)選抜

帰国生徒

(海外就学経験者)選抜

編入学・転入学

試験

併願した場合

調査書・成績証明書等を 流用できる！

調査書・成績証明書の原本提出は

1回でOK！

入試方式を受験しやすく リニューアル!

リニューアル

03

総合評価方式
探究型

筆記試験の設問数を減らし 試験時間を短縮!

総合評価方式・探究型のオンライン筆記試験において、現行の次の設問のうち
問⑤を廃止し、試験時間を90分間に短縮します。

総合評価方式・探究型 筆記試験設問 (HP公開情報)

試験時間120分 → **90分**

短縮

- ① 与えられた資料から、自分なりの「問い」を異なる視点から3つ列挙しなさい。
- ② 「問い」を選択した理由(選択した「問い」のもつ意義や社会的価値等)を書きなさい。
- ③ 「問い」に対する「自分なりの答え(仮説)」を書きなさい。
- ④ 「自分なりの答え(仮説)」を証明するために、どのようなデータや調査結果等が必要か書きなさい。
- ⑤ 以上を踏まえ、論文作成するとした場合の計画書(論文・レポートで序論にあたる文章)を作成しなさい。

廃止

リニューアル

04

一般選抜
共通テスト+面接方式

総合評価方式
論述型

国際バカロレア
(IB)選抜

帰国生徒
(海外就学経験者)選抜

ライブ面接から録画面接に! 出願書類の1つとして 自分のタイミングで 提出できる!

リニューアル

05

総合評価方式
論述型

国際バカロレア
(IB)選抜

帰国生徒
(海外就学経験者)選抜

2段階選考 → 1段階選考 に変更しスケジュール短縮!

リニューアル

06

一般選抜
すべての入試方式

英語外部資格試験の 活用チャンスが拡大!

一般選抜すべての入試方式において、新たに、英語外部資格試験の得点を活用できるようになります。
共通テストの「外国語」に関しても、下表のとおり、段階的な得点換算の方法に変更します。

	英語科目の換算得点率			
	100%	90%	75%	60%
TOEFL iBT® Test	83	70	55	42
IELTS (Academic Module)	6.5	6.0	5.0	4.5
TOEIC® L&R/S&W Test	1700	1600	1340	1150
実用英語技能検定	2450	2304	2142	1980
TEAP	342	318	267	225
TEAP CBT	698	600	508	420
GTEC4 技能 (Official Score Certificateのみ)	1280	1215	1080	960
ケンブリッジ英検	175	169	150	140
PTE Academic	72	60	50	42

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2022年10月1日以降のものを有効とします。
※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。
※TOEIC® (L&R/S&W) については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。
※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interview も含みます。また、受験の合否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。
※GTECは、オフィシャルスコアに限ります。
※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含みます。
<詳細については、入学試験要項で確認してください。>

リニューアル

07

一般選抜
共通テスト方式

共通テスト方式の定員UP!

全ての学部で2月の共通テスト方式の定員を5名ずつ増員します。

	2月入試				3月入試			合計
	共通テスト方式 7科目型 5科目型 3教科型	独自方式			共通テスト方式 4科目型 5科目型 3教科型	独自方式		
		前期方式	英語重視方式	共通テスト併用方式		後期方式	共通テスト+面接方式	
アジア太平洋学部 APS	40	35	20	20	5	3	2	125
国際経営学部 APM	35	25	15	15	5	3	2	100
サステナビリティ観光学部 ST	35	20	10	10	5	3	2	85
全体	110	80	45	45	15	9	6	310

リニューアル

08

一般選抜
共通テスト+面接方式

合格必要条件として求めていた 共通テストでの 60%の得点取得要件を廃止!

英語基準入学の チャンスが広がります！

リニューアル

09

一般選抜
すべての入試方式

英語基準なら、最初から 『英語で学ぶ』を選べる！

日本語基準の方も英語言語クラスが準上級クラス(IELTS6.0相当)でスタートすると英語開講の授業も選択できます。

※詳しくは下記「入学基準言語って何？」をご参照ください。

次の基準を満たす場合に、英語基準での入学の選択ができます。
一般選抜における筆記試験はこれまで同様日本語でのみ実施します。

英語基準出願に必要な英語外部資格の得点

TOEFL iBT	TOEIC	IELTS	英検	TEAP	GTEC	ケンブリッジ	PTEアカデミック
75	1600	6.0	2304	318	1215	169	50

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2022年10月1日以降のものを有効とします。

※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。

※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interview も含みます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

※GTECは、オフィシャルスコアにのみ限ります。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含みます。

<詳細については、入学試験要項で確認ください。>

入学基準言語って何？

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英二言語教育」です。入学希望者は入学試験への出願時に入学基準言語として「日本語基準」、「英語基準」のいずれかを選択します。入学時には新入生全員が入学基準言語とは反対の言語のプレースメントテストを受け、その結果をもとに、それぞれの能力に応じた適切なレベルから必修言語科目の履修を開始します(3回生入学者を除く)。

日本語基準

日本国内の高等学校を卒業した国内学生の大多数は日本語基準で受験し、入学しています。日本語基準の国内学生は、1~2回生時は日本語開講の共通教養科目や専門教育科目を中心に履修します。同時に、**言語教育科目「英語」を履修し、英語開講の専門教育科目を履修できる水準を目標に学修し、各々の英語力の伸長に応じて英語開講の履修科目数を段階的に増やしていきます。**日本語基準の国内学生については、入試方式によっては出願資格として英語力に関する要件を定めていませんが、入学時における標準的な英語力水準は、TOEFL iBT®Test45~61点程度、IELTS(Academic Module)5.0~5.5程度、英検®CSE2.0スコア1980点以上程度です。なお、日本語基準の国内学生については、英語開講の共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得することを卒業の要件としています(卒業に必要な単位数:124単位)。

英語基準

入学当初から英語開講の共通教養科目や専門教育科目を履修しますので、中学・高校に相当する課程において英語で教育を受けた方や、英語圏の学校への長期留学を経験した方などに適しています。英語基準の国内学生については、TOEFL iBT®Test75点相当以上のスコアを有すること等を受験時の出願資格としていますが、入学者の標準的な英語力水準は、TOEFL iBT®Test 80~100点程度、IELTS(Academic Module)6.0~6.5程度、英検®CSE2.0スコア2304点以上程度です。なお、英語基準で入学した学生については、言語教育科目「英語」を必修とはしていませんが、選択科目として一部の「英語」科目の履修を認める場合があります。

Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University



受験生サイト
APUmate.net

立命館アジア太平洋大学

アドミッションズ・オフィス

TEL.0977-78-1120 (平日9:00~17:30)

Mail: apumate@apu.ac.jp